

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

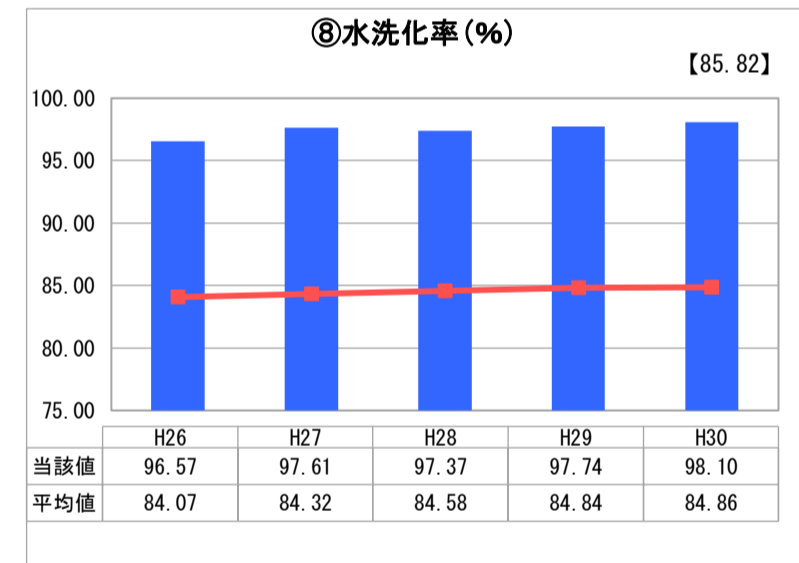
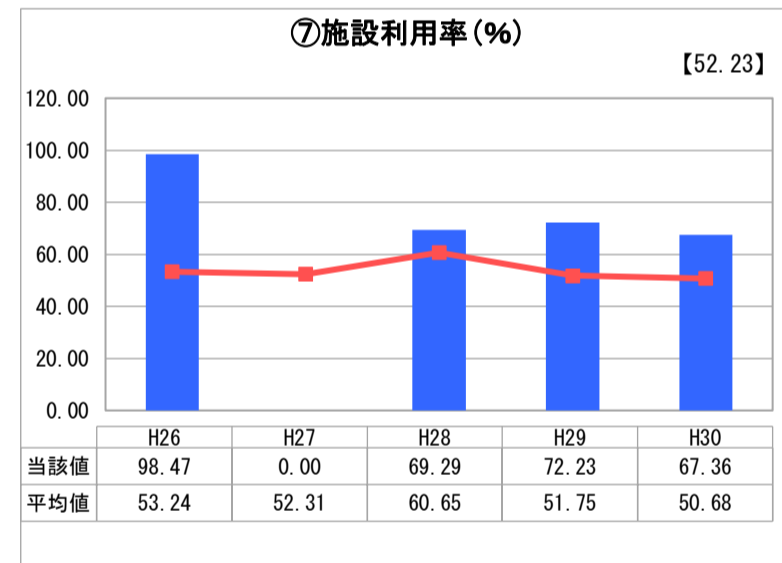
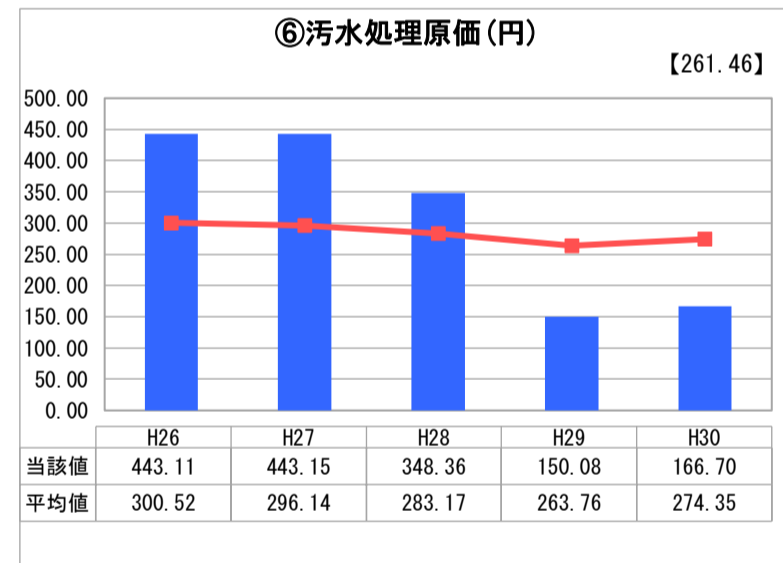
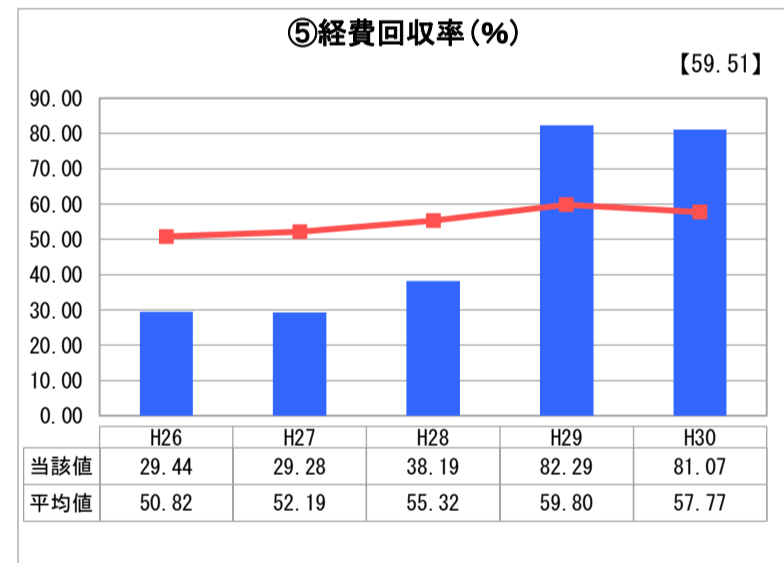
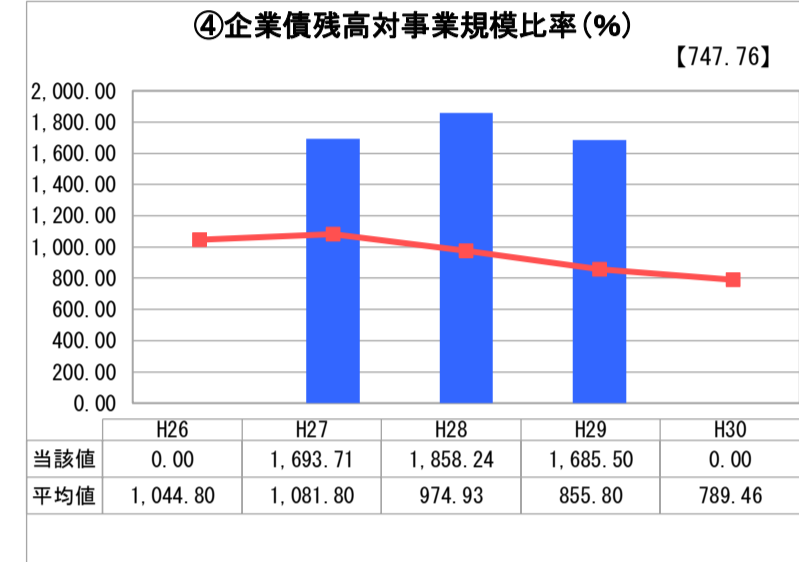
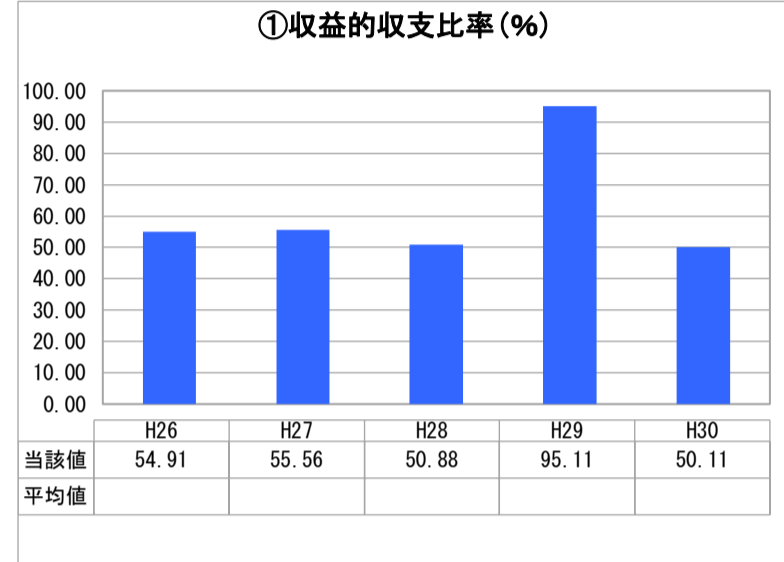
福井県 永平寺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	19.91	94.66	2,484

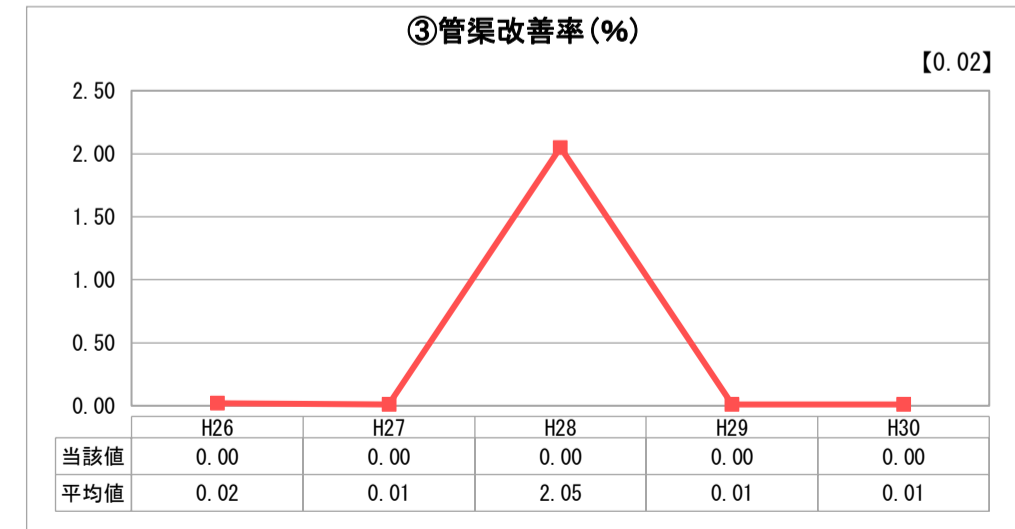
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,670	94.43	197.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,691	2.49	1,482.33

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、100%を下回っており総収益の大部分を一般会計繰入金に依存している状況である。企業債の償還についてもすべて一般会計繰入金に依存している。今後、料金収入による財源確保等の経営改善に向けた取組みが必要である。

経費回収率は、類似団体平均を上回っているが、100%を下回る状況である。更なる汚水処理費の抑制や料金収入の増加に努める必要がある。

汚水処理原価は、類似団体平均を下回っている。引き続き、効率化による維持管理費の削減に努めていく。

施設利用率は、人口減少により、減少傾向にあるが、類似団体平均よりも高い状態である。今後、更なる人口減少に伴う利用率の低下が見込まれるため、処理区の統廃合について検討していく必要がある。

水洗化率は、供用開始当時より地元が中心となって加入の促進の取組みを行ったため、類似団体平均よりも高い値となっている。

### 2. 老朽化の状況について

当町の農業集落排水事業は、平成7年から順次、供用を開始し24年経過している。耐用年数を考慮しても、半分以上の経年数となっていることから、現状としては管渠の更新。老朽化対策は実施していない。

長期的な考えとしては、管渠の更新は、耐用年数である50年を目処に実施することを考えているが、単に耐用年数通りに更新するのではなく、事前に調査・点検を行い、その状況に応じて更新を行っていく。

### 全体総括

当町の農業集落排水事業は、松岡地区の吉野処理区、上志比地区の西部処理区、中央処理区、東部処理区の計4処理区で汚水を処理している。

経営的には、総収益の大部分を一般会計からの繰入金に依存しているところである。このため、料金体系の見直し、維持管理費の削減等の経営健全化に努める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。